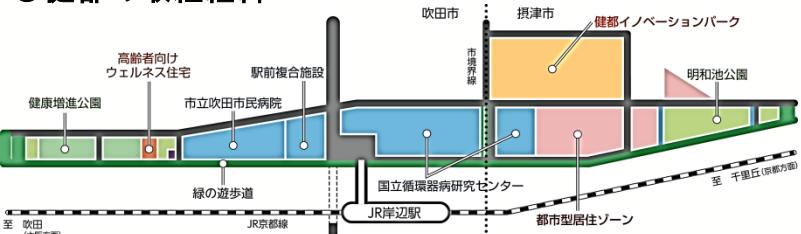


1. 本プラン策定の背景

●策定の目的

- 北大阪健康医療都市（健都）においては、国立循環器病研究センター、市立吹田市民病院、駅前複合施設、健都イノベーションパーク、健康増進公園や高齢者向けウェルネス住宅の整備など、本市を含む各事業主体による施設整備が進行
- 各施設の開業にむけ、今後は、各事業者が展開する「健康・医療」の要素を盛り込んだソフト事業の相互連携が重要
- 「吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、健都における「生涯活躍のまち」構想の実現に取り組むことを位置付け
- 各事業主体や医療関係企業・研究機関、地域住民等が連携しながら、健康づくり、生きがいづくり、就労、社会活動、生涯学習等に関する健都ならではの取組が主体的に創出される環境整備を進める
- 健康・医療のまちづくりに関する各種計画等を基に、平成27年（2015年）12月に国において示された「生涯活躍のまち構想（最終報告）」も踏まえながら、これまで進めてきた健康・医療のまちづくりをさらに加速させるような効果的な連携や取組を展開し、**健都ならではの先駆的な健康づくりや生きがいづくり等を創出するために策定**

●健都の取組経緯



- 健都への国立循環器病研究センターの移転を見据え、『「健康・医療のまちづくり」基本方針（平成26年）』を策定、循環器病の予防医療や市民参加による健康増進のモデルづくり、これらによる健康寿命延伸と高齢者等の参加による地域活性化を通じた「健康・医療のまちづくり」の吹田モデルを発信
- 国立循環器病研究センター、市民病院の移転に加え、駅前複合施設へのクリニックや薬局、検診センターの立地、健康増進公園・健都ライブラリー等の整備など、住民のみならず市民、来訪者の交流、健康増進の場づくりを推進
- 吹田操車場跡地まちづくり実行計画（平成27年）、および個々の施設の整備方針（健康増進広場・健都ライブラリー、健都イノベーションパーク、高齢者向けウェルネス住宅）等を策定、個々の街区での事業者募集等が進められているほか、各事業主体による施設整備等が進行中

●対象区域

健都（吹田市域を基本）

●目標年次

平成31年度（2019年度）

（吹田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標年次）

2. 健都のまちづくりの基本的な考え方

(1) 目標像（宣言）

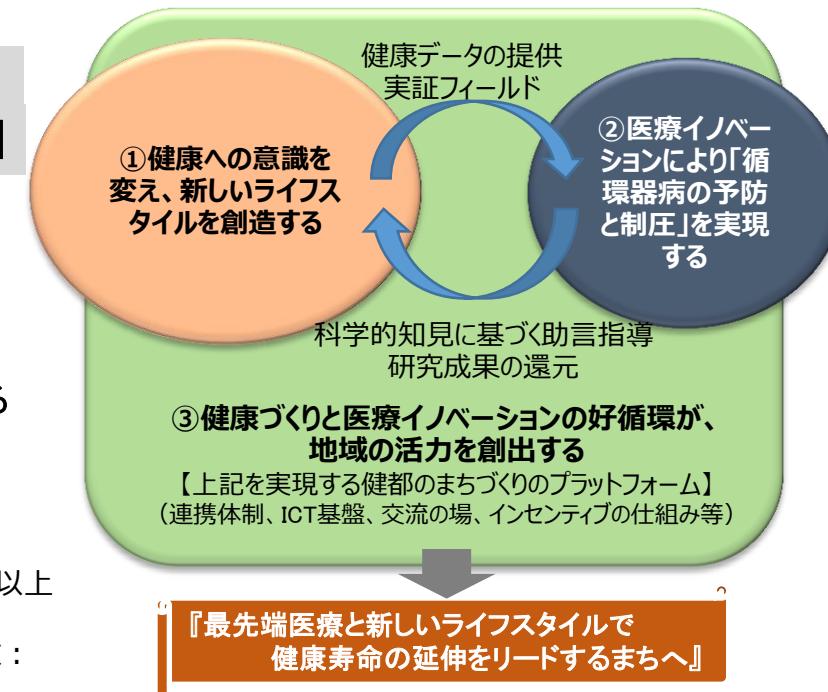
『最先端医療と新しいライフスタイルで
健康寿命の延伸をリードするまちへ』

<取組方針>

- ①健康への意識を変え、新しいライフスタイルを創造する
- ②医療イノベーションにより「循環器病の予防と制圧」を実現する
- ③健康づくりと医療イノベーションの好循環で地域の活力を創出する

(2) 目標達成状況の評価（KPI）

- 健康寿命：男性81歳、女性85歳（平成22年男性79.94歳、女性83.66歳）
- 健都ライブラリーの利用者数：延べ11万人以上／年
- 「基本計画」を踏まえた運営推進法人（仮）の選定、「事業計画」の策定：1以上（平成30年度目標）
- 「基本計画」を踏まえた健康づくり、生きがいづくり等に係るプログラムの実施件数：延べ138件（平成31年度目標）



3. 健都のまちづくりの加速化に向けた取組

①健康への意識を変え、新しいライフスタイルを創造する

（主体）

- 国立循環器病研究センター
- 駅前複合施設
- 健康増進公園、健都ライブラリー
- 高齢者向けウェルネス住宅 等

- ✓ 公開講座等、国循をはじめとする各主体による気づき、学びの提供、人材育成
- ✓ 生活習慣病予防に資する食や運動プログラム、交流空間の提供
- ✓ 各拠点での健康チェック、相談機能を活用、個人にあった運動プログラムの提供
- ✓ 地域包括ケアシステムの提供、子育て支援による多世代交流
- ✓ 生活コーディネーターによる就労やボランティア、生涯学習等への参加支援
- ✓ 運動や講座、イベント、健康チェックによる効果把握等で継続的な健康づくりを支援

②医療イノベーションにより「循環器病の予防と制圧」を実現する

（主体）

- 国立循環器病研究センター
- 健都イノベーションパーク

- ✓ 先駆的な循環器病予防モデル事業の実施
- ✓ 医療情報（ビッグデータ）の集積、解析により、予防と治療の先にある先制医療を実現
- ✓ 革新的な医薬品・医療機器の創出、最先端の医療・医療技術の開発とその成果の普及
- ✓ 効果的な予防医療を確立、医療関係者や研究者、市民への教育啓発
- ✓ 地域企業、大学等との共同研究、交流を促進、食事や運動プログラムの開発、検証、普及

③健康づくりと医療イノベーションの好循環で地域の活力を創出する

（主体）健都内各機関、地域医療関係者、行政、周辺関係機関等

- ✓ 健都を実証フィールドにした、ビジネス創出、行動変容のプログラム開発に資する連携調整
- ✓ 多様な学習機会を得た市民の社会参加を促すマッチング機能の検討
- ✓ 健康データを活用して健康づくりの意欲の向上と商業施設の利用等の地域の活性化をつなぐ仕組みの検討
- ✓ 様々な講座等の情報発信、健康の取組の認定などの健康意欲を高める仕掛けづくり

4. 今後の取組に向けて

- ポータルサイトやイベントをはじめとした健康づくりの情報発信、健都のPRの充実
- 企業立地、各拠点の運営事業者の選定を契機に、地域の情報共有・連携体制を充実
- 健康づくりの推進、クラスターの形成との好循環の発揮を目指したICTによる健康データ基盤や健康づくりへの動機づけの仕組みの検討